

個性が彩る獅子・狛犬ものがたり —守護獣たちの奥深き“沼る”世界—

話題提供 **高松 伸幸**さん (狛犬研究家、ココブラ信州実行委員会代表)

日 時 **1月18日(土)** 午後1時30分～3時30分(予定)

会 場 **あがたの森文化会館 講堂・第一会議室** 参加費 200円

※ 電話での事前申し込みが必要です

“浪速”“江戸”“出雲”……古い呼称も混ざったこれらの地域名、いったい何の話だと思いますか？ じつは神社や寺院にいる狛犬について、それぞれの地方で同じような身体的特徴が見られる様式の名称として、愛好家から浪速型、出雲型などと呼ばれているものです。(そのほかにも肥前、福島、越前、松本などいろいろ)

社寺で見かける狛犬は、境内や神殿など聖域を守護する役割をもつ想像上の獣ですが、関心がないと「狛犬なんてみんな同じでしょ」と思われてしまいがち。でも実際に彼らと触れ合い続けると、個性的なデザインや石工の技術に驚かされることばかりで、気づくとその魅力の虜になってしまう人も少なからず。まさに狛犬世界の沼にハマってしまう中毒性の高さもまた、狛犬愛好の特徴といえるでしょう。

同じような特徴をもった狛犬の一群が、地域性などを捉えたタイポロジー(類型学)的楽しみ方ができる魅力につながっている一方、なかには出生の秘密を含む様々な物語に彩られた狛犬たちもいて、それらのストーリーを探求し、想像してみるという面白さも。

狛犬の楽しみかたは人それぞれ。今回は各地の個性豊かな狛犬ものがたりを紹介しつつ、その奥深い魅力を皆さんと一緒に語り合えればと思います。

高松伸幸(たかまつ・のぶゆき)さんは1968年、和歌山県生まれ。建築設計事務所を主宰する傍ら、まち歩きガイドツアーを企画するココブラ信州を運営。全国各地の社寺を探訪し、個性的な狛犬との出逢いを楽しみつつ、不定期刊の雑誌「松本の本」では松本に棲む狛犬たちの記事を連載中。安曇野市在住。

☆テーマに沿って話題提供者の話のあと、気楽に懇談。自由にご参加ください。

主催：サロンあがたの森実行委員会 共催：旧制高等学校記念館・記念館友の会

申し込み・問い合わせ 旧制高等学校記念館 ☎35-6226 FAX 33-9986